

## 第9回(平成28年) 定時社員総会

平成28年5月19日に学士会館にて、第9回定時社員総会が開催されました。議題に先立ち、平成27年度の労災事故、並びに4月14日以降の熊本震災にて被災されお亡くなりになりました御霊に対しまして黙祷を捧げ哀悼の意を表しました。熊本・大分地区の震災に対して九州以外の皆様方に寄付金をお願いしたところ、会員19社の皆様から93万円の寄付金を頂き、日本赤十字社を通じて寄付させていただきました。ご協力感謝申し上げます。また、社員等が被災された会員企業5社に些少の御見舞金を贈らせていただきました。

### 第9回定時社員総会



#### 《野崎正和代表理事 挨拶》

我々土木業界、トンネル業界は東北の復興、今まさに最盛期であり、更に、今回の地震で、また復興の仕事が増えるのではないかと考えております。九州の震災復興にも、我々トンネル専門協会の会員の皆様方が携っていると聞いております。復興だけでなく、これから東京オリンピック、リニアモーターカー、そして北海道新幹線とトンネル業界は更に忙しくなってくるのではないかと考えております。

そのため、担い手を確保しなければならないのですが、国が対策を行っている担い手三法は、まだまだ我々に完全には定着していないのが現状です。4年間連続で単価の見直しが行われ、平成27年度の決算でゼネコンでは過去最高の利益を達成したようで物価スライドが業界なりに行われたようです。しかし、我々専門業者(下請)にはなかなか恩恵はまわってきてはおりません。我々専門業者でも技能員の単価は高くなってきております。その単価を技能員に支払わないと仕事に来てくれず、単価のいい現場に行ってしまうので、経営が非常に厳しい状況になっており、専門業者は廃業、倒産が多くなっております。

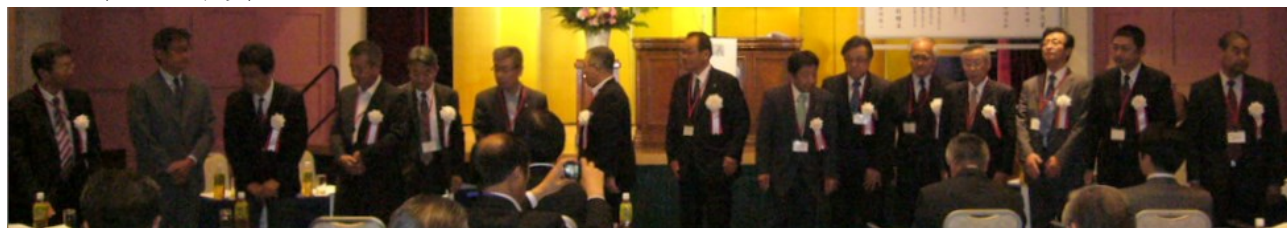
それを食い止めるためには、しっかりと経営基盤を作る必要があります。施工業者だけではなく、機械メーカー、リース、そして資材関係等で取り組んでいくことが沢山あります。担い手確保には、設備と良い環境、宿舍も含めて若者が希望を持てる業種にしていく必要があります。我々専門業者の実態を、今一度見直して頂いて担い手確保、担い手三法がうまく運用されるよう発注者に働きかけていきたいと思っています。

今回は厚労省より切羽の肌落ち災害の防止に関し、ガイドラインが第一四半期に発出されると発表されています。以前は我々の責任とされてきた鏡吹付も肌落ち防止に含まれるようになり、安全は我々だけでは出来ないと強く主張した結果が出てきたように思います。

#### 《承認された議案》

- |       |                         |   |
|-------|-------------------------|---|
| 第1号議案 | 平成27年度事業報告              |   |
| 第2号議案 | 平成27年度収支決算報告<br>並びに監査報告 |   |
| 第3号議案 | 役員選任及び顧問委嘱(案) ※1        |   |
| 第4号議案 | 会費規程の一部改定(案) ※2         | ※2 規程改定                                       |
| 第5号議案 | 平成28年度事業計画(案)           | 現行の会費区分に関する会員の定義について、一部明確になっていない部分があり、明確化された。 |
| 第6号議案 | 平成28年度収支予算(案)           |   |

※1 選任された役員一同



## 表彰 (敬称略)

### 1. 感謝状

永年にわたり当協会の役員を務められ、新規会員入会に貢献される等当協会の円滑な運営に寄与された理事 菅原正人氏(キャタピラーイーストジャパン(株))に会長より感謝状と記念品が授与されました。

### 2. 表彰状

当協会の推薦により国土交通大臣優秀施工者(建設マスター)及び厚生労働大臣安全優良職長顕彰を受けられた方に会長より表彰状と記念品が授与されました。

受賞者:建設マスター	大崎卓弥氏(藤友工業(株))
〃	濱田盛幸氏(株興和建设)
ジュニア建設マスター	野口 壮氏(成豊建設(株))
安全優良職長	大野史一氏(西豊工業(株))



## 総会懇親会来賓挨拶要旨

※お役職は平成28年5月19日現在です

### 国土交通省 大臣官房 技術審議官 池田 豊人 様



平成25年まで13年連続で公共工事が減った時代がありました。しかし、それから反転し、28年度予算は連続してわずかではありますが増加傾向になっております。いよいよ皆様の力をいかに発揮して強靱な国土作りをする時代が来たのではないのでしょうか。オリンピックもありますし、これからますます皆さんの活躍の場が増えるものと思っております。

### 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 縄田 英樹 様



4月末に起きました神戸での橋桁落下事故については労働安全衛生研究所に依頼し、研究員を派遣して緊急の安全総点検を要請しております。そのような中、本日同じ新名神の高速道路で施工中の橋桁を支える物が倒壊したという話が入ってきました。緊急総点検を行っている中で、同じ新名神で2度目の事故が起こってしまったのです。トンネル工事の皆様は、業種は違いますがこれも他山の石ということで工事に手ぬかりはないか、一度ご確認頂ければと思います。全国安全週間での今年のスローガンは「見えますか、あなたの周りの見えない危険。みんなで見つける安全管理」です。経験の浅い労働者には職場に潜む察知できない危険が多いという事でこのスローガンが決定しました。職場の先輩の方々に安全に対して色々教えて頂いて、事故のない業界を創って行って頂ければと思います。

### 一般財団法人 建設業振興基金 理事長 内田 俊一 様



人手不足といいながら、34歳以下の就業者、学生のアルバイトを除く1400万人～1700万人の内400万人は非正規雇用の人達です。44歳以下で見ると2700万人のうち800万人が非正規雇用です。正規雇用と非正規雇用の差は、給料の差もありますが、それ以上に問題だと思っておりますのは、スキルアップ研修や教育訓練という教育の機会が非正規雇用の方々に用意されていないという事です。人が足りないといいながら、このような状態でよいのでしょうか。おそらく数年後、熾烈な人の確保、若者確保の争いが始まるでしょうが、これは実は、若者の確保の競争ではなく、若者をきっちりどこが育てるのか、そういう競争になるのだらうと思っております。このトンネル専門協はそういうことをきちんと伝えていっている団体と聞いており期待しております。

### 一般社団法人 日本建設業連合会 安全委員長 伊藤 寛治 様



建設業界は大きな環境の変化の時代を迎えております。国民生活の、安全、安心を担う建設業界におきまして工事に伴う安全と、環境の確保はいかなる時代であっても取り組まなければならない重要な課題です。粉じん障害につきましては、私ども日建連と共に、毎年10月に安全パトロールを実施されております。こうした活動を継続する事で、トンネル建設工事で働く全ての方々がじん肺症に罹患しないように施工面、設備面の工夫と改善を継続し、粉じん低減対策措置に徹底を図っていければと思います。また、粉じん障害に限らず、建設業界が直面している様々な課題につきましても、協会と共に手を携えながら解決に向けた取組みを行っていきたくと思います。

## 切羽における労災防止対策ガイドライン

トンネル専門協が長年取り組んできた山岳トンネル切羽における肌落ち労働災害防止対策としての「鏡吹付コンクリートを中心とした労災防止対策のガイドライン化」や「鏡吹付コンクリートの標準積算化」が昨年度より実現に向け動き始めました。当協会では、平成15年度より「肌落ち労働災害」が重篤災害となること、又、この労災発生が協会員において年平均4回

程度発生していることを鑑み、「肌落ち労働災害防止対策プロジェクト」を立ち上げ、その後肌落ち労災防止に取り組んできました。この取り組みの成果として、平成17年度には「トンネル工事災害防止対策技術・肌落ち事例編」CDを作成しました。平成19年度には、「トンネル工事における肌落ち労働災害防止ハンドブック」を発行し、会員企業に水平展開を図りました。これらの調査・研究結果からは、「肌落ち労災防止対策」としては、「入念な浮石除去と鏡吹付コンクリートの施工が有効な手段である」との結論に至りました。

これらの結果を受け、平成20年9月には、国土交通省大臣官房技術調査課との意見交換会において、切羽の安全確保のため、鏡吹付コンクリート施工の標準積算化をお願いしました。平成22年9月には、厚生労働省安全衛生部建設安全対策室と環境改善室との意見交換会において山岳トンネル工事切羽における労災防止対策としての鏡吹付コンクリートのガイドライン化をお願いしました。

当協会は、その後、関係箇所への同様な働きかけと同時に協会としても更に肌落ち労災防止対策を進めるべく、技術・情報委員会において、平成23年度に「肌落ち労働災害防止対策ハンドブックその2」発行に取り組みました。この年度は、委員会に(独)労働安全衛生総合研究所建設安全研究グループより研究員を招聘し、肌落ち労働災害のアンケート調査、分析、防止対策検討を行い、平成24年3月に「トンネル工事における肌落ち労働災害防止ハンドブックその2」を発行しました。

ここでも防止対策としては、入念な浮石除去と所要厚さの鏡吹付コンクリートの施工が有効であるとの結論に達しました。この所要厚さの吹付コンクリートは、アンケート調査の結果、吹付コンクリートを施工しているにも関わらず肌落ち労働災害が発生していることに着目し、再調査を行った結果、この鏡吹付コンクリートが標準積算に計上されてないため、どうしてもコストの関係から吹付厚さが薄めになっていることが原因らしいことも分かりました。

こうしたなかで、平成27年12月に厚生労働省安全衛生部建設安全対策室より、「山岳トンネル工事切羽における労働災害防止対策ガイドライン」に関する意見聴取を行いたいとの連絡があり、協会としても鋭意協力させて頂きました。その後、建設安全対策室では、ガイドライン化に向け準備を進められ、近い内にガイドライン(案)を固められ、国土交通省との協議を終え、パブリックコメントの一定期間を経て、今年中にガイドラインを発出する予定であるとのことです。

一方標準積算化については、鏡吹付コンクリート施工の現状について、アンケート調査を実施し、平成28年5月に報告書にまとめ、平成28年6月に国土交通省大臣官房技術調査課に「鏡吹付コンクリート実態調査報告書」として、鏡吹付コンクリート施工の現状を報告し、安全確保のため早急にその標準積算化をお願いしたところです。

当協会としては、今後も厚生労働省、国土交通省に早期ガイドライン化及び安全確保のための標準積算化実現のため努力してゆく予定です。

## 登録トンネル基幹技能者講習

7月9日～12日に富士教育訓練センターにて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。15名の受講者は7月17日に行われた登録基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、全員の修了が承認されました。



修了証番号	所属組織名	氏名
第061607-00509号	㈱金子組	小笠原 誠
第061607-00510号	木部建設㈱	野崎 大作
第061607-00511号	木部建設㈱	藤原 裕
第061607-00512号	㈱児玉組	三河 竹只
第061607-00513号	笹島建設㈱	伊藤 人志
第061607-00514号	笹島建設㈱	藤村 弘幸
第061607-00515号	笹島建設㈱	山本 淳二
第061607-00516号	成豊建設㈱	岡元 盛隆

修了証番号	所属組織名	氏名
第061607-00517号	成豊建設㈱	加藤 慎吾
第061607-00518号	成豊建設㈱	田中 健一
第061607-00519号	成豊建設㈱	西田 新一
第061607-00520号	成豊建設㈱	棟朝 望
第061607-00521号	北新建設㈱	坂本 宏二
第061607-00522号	北新建設㈱	坂本 光晴
第061607-00523号	山崎建設㈱	脇川 隆信

また、6月11日に開催された東京会場での更新講習で10名の方が修了証を更新されました。累計更新講習修了者は276名になりました。

## 協会からのお知らせ

【今後の予定】

- 2016/10/14(金)～10/15(土) 現場見学会
- 2016/11/10(木)～11/13(日) 平成28年度第2回登録トンネル基幹技能者講習 三田会場
- 2016/12/03(土) 平成28年度第3回登録トンネル基幹技能者更新講習 福岡会場
- 2017/01/27(金) 新春セミナー、賀詞交歓会
- 2017/05/18(火) 平成29年度第10回定時社員総会

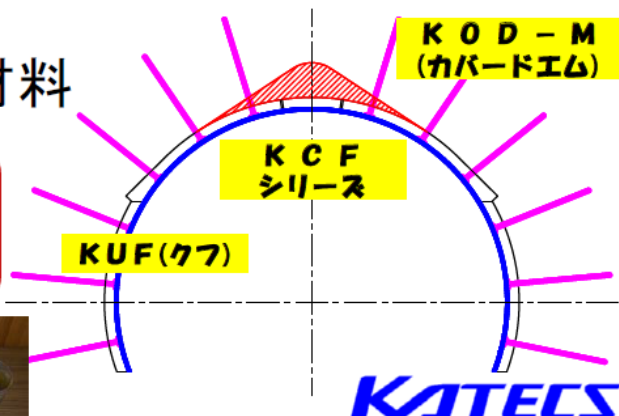
# K series

## カテックスの補修・補強材料

減水止水材: 高強度ウレタン系注入材(KOD-M)  
空洞充填材: 高発泡ウレタン系注入材(KCFシリーズ)  
ウレタン系ロックボルト定着材(KUF) 等

株式会社 カテックス 建設資材事業部

〒460-8331 名古屋市中区上前津1丁目3番3号  
TEL(052)331-8821 FAX(052)332-0164 <http://www.katecs.jp/>



株式会社 エムケーエンジニアリング  
MK-Engineering Co.,Ltd

〒553-0006  
大阪府大阪市福島区吉野1丁目  
20番30号 阪神野田駅前ビル10F  
TEL.06-6443-7060  
FAX.06-6443-7061  
mke\_eigyo@nifty.com



### 保温養生用

## FRPセントル

お問い合わせはHPから  
<http://m-k-e.jp/>

やすらぎの環境を  
優しくサポート。

— 清潔と安心をお届けして 121 年 —

寝具リース (レンタル)・販売  
業務用クリーニング/リネンサプライ  
福祉用具レンタル・販売/介護用品販売

 **小山株式会社**  
東京支店

〒115-0043 東京都北区神谷3丁目25番6号  
TEL 03-3901-0560  
FAX 03-3901-7177  
[www.koyama-kk.co.jp](http://www.koyama-kk.co.jp)



この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors  
**日本トンネル専門工事業協会**

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階  
TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL: <http://www.tunnel.jp>